



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第297号

小さな者への心配り 広報・岩本

2月11日。熊本で九州外国人セミナーが開かれました。各地から300名以上の方が参加して、今年7月から施行される改定入管法について勉強しました。

7月9日から施行される改定入管法は、日本に滞在している全ての外国人の情報を国が完全に管理するものです。国の方針ですから仕方がないかも知れませんが、今回は厳しい罰則が付いています。そのため来年の春頃から、在留許可の取り消しになる人が大量に出るだろうとNGOの人たちは心配しています。

カトリック難民移住移動者委員会では、担当の松浦司教様が心配されていて「**全ての外国人信徒のみなさんに1日も早く知らせて下さい**」と言われていました。

今年に入り各地で勉強会が開催されていますが、外国人の10%くらいにしか伝わっていないと見られています。「北九州地区信徒協たより」に関連した記事が掲載してありますので、みなさんも協力をお願いします。

外国人セミナーの終りは宮原司教様司式のミサでした。宮原司教様は説教で「**イエス様の家族もエジプトへ逃れて難民になりました。私たちの教会は、日本にあるキリストの教会です**」と言われました。福音書は、マタイ25章31節～40節が読まれました。この箇所は今回の集まりにとっても関係が深い箇所でした。

聖書には「**すべての民族を裁く**」となってい

ます。そして34節～36節は、イエス様が私たちに何をしないといけないのかを教えてください。さっています。

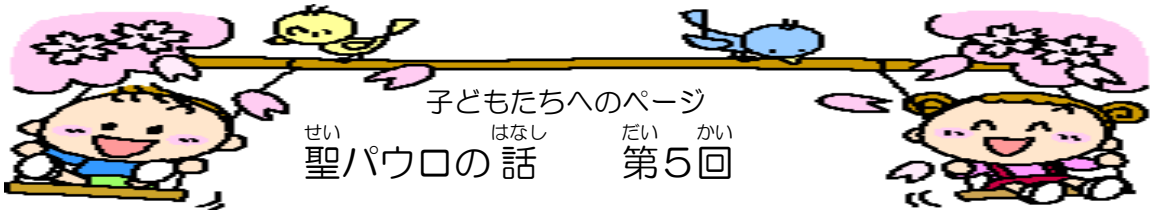
『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、喉が渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ』

わたしたちは日常生活の中で困った人や病気の人に会ったときに、イエス様が言われたようなことをしたでしょうか。

40節にはこのように書かれています。『はっきり言っておく。わたしの兄弟である、この最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである』

困ることになる人がいること分かっているのに助けようとしないのは、イエス様が言われる「小さい者」を助けようとしないことと同じことになると思うのです。

子ども達のページ	2面
教会学校のページ	3面
典礼委員会議事録	4面
聖書への案内・今月の聖人	5面
ペルーからの手紙	6・7面
おしらせ	8面



子どもたちへのページ

せい はなし だい かい
聖パウロの話 第5回

エルサレム^いに行ったパウロは、キリスト^{でし}の弟子^いたちのところ^いに行き、キリストのこ^{ひとひと}とを人々の前^{まえ}で話^{はなし}し始め^{はじ}ましたが、エルサレム^{かえ}に帰^{かえ}ってくるまで、キリストに^{したが}従^{したが}う人^{ひと}たちを苦し^{くる}めていたパウロの^{はなし}話を^き聞^きく人^{ひと}はいませんでした。むしろパウロを^{ころ}殺^{ころ}そうとする人^{ひと}もいました。

友人^{ゆうじん}のバルナバ^{しんばい}は心配^{かいがん}して、海岸^{まち}の町^{まち}カイサリア^つへパウロを^つ連れて^い行き、船^{ふね}に乗^のせて故郷^{こきょう}のタルソ^{かえ}へ帰^{かえ}らせました。それ^{なんねん}から何年^{あいだ}もの間^{かきょう}、パウロは故郷^{いえ}の家^{いえ}で^{せいかつ}生活^{せいかつ}しました。

しかし、パウロは^{こきょう}すぐに故郷^{かえ}へは帰^{かえ}らず、アラビア^{なんねん}に何年^いか行^いったと言^いっています。(ガラテヤ書^{しょ}1章^{しょう}17節^{せつ})

そのころのアラビアとは、あまり^{とお}遠^{とお}いと^ところではなく、世界^{せかい}遺産^{いさん}の遺跡^{いせき}がある、ペトラ^とだったといわれています。なぜなら、そのころのペトラ^{たび}は旅^{ひと}をする人^{ひと}たちが

必^{かなら}ず泊^とまる町^{まち}だったからです。パウロはアラビア^{こきょう}からまっすぐ^{かえ}故郷^{かえ}のタルソ^{かえ}へ帰^{かえ}りました。

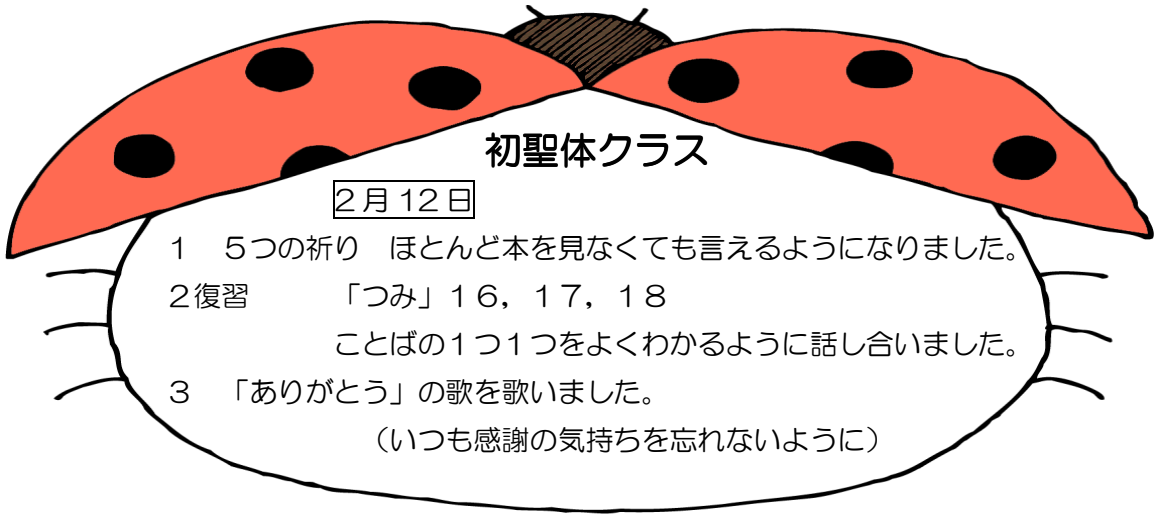
パウロの家^{いえ}はタルソ^{ゆうめい}でも有名^{かねも}な金持^{かねも}ち^つでしたが、仕事^{しごと}はテント^{つく}作り^{つく}でした。このころテント^{さばく}は、砂漠^あや荒れ野^のなどでたくさ^{つか}ん使^{つか}われているととても大切^{たいせつ}なものでした。

このころパウロは自分^{じぶん}の家^{いえ}でテント^{つく}の作^{つく}り方^{かた}を学^{まな}んだのでしょ^{つた}う。キリスト^{つた}を伝^{つた}える旅^{たび}をしたとき、いろい^{まち}ろな町^{まち}でテント^{つく}を作^かってお金^{かね}を稼^{かせ}いで生活^{せいかつ}しました。その^{てがみ}ことはパウロの手紙^{なか}の中に^{わたし} [私^{わたし}はみな^{みな}さんの^{ところ}所^{ところ}にいるとき、生活^{せいかつ}でみなさんに^{めいわく}迷惑^{めいわく}をかけたこと^かはない]と書^かいてありま^すす。

そのころエルサレム^{でし}でキリスト^{でし}の弟子^{でし}たちは苦し^{くる}められていましたので、北^{きた}にあ^ある国^{くに}のシリア^{くに}のアンティオキア^{くに}にたくさ^にん逃^いげて行^いきました。



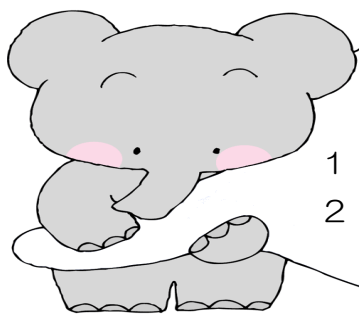
教会学校のページ



初聖体クラス

2月12日

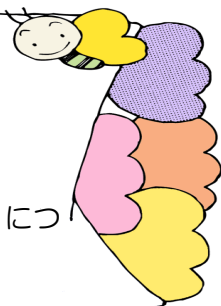
- 1 5つの祈り ほとんど本を見なくても言えるようになりました。
- 2 復習 「つみ」16, 17, 18
ことばの1つ1つをよくわかるように話し合いました。
- 3 「ありがとう」の歌を歌いました。
(いつも感謝の気持ちを忘れないように)



3~6年生クラス

2月12日

- 1 灰の水曜日についての勉強をしました。
- 2 四旬節のあいだ、自分でできる「ぎせい」について考えました。



1月29日は、北村神学生の送別会のため、勉強会はありませんでした。

3月の予定

3月11日

☆黙想会・共同回心式のため、勉強会はありません。

3月25日

☆この日は子どものミサです。

☆ミサ後、教会学校の卒業式・終業式・黙想会・ゆるしの秘跡があります。



2011年度 第8回 典礼委員会議事録

開催日時：2012年2月8日(水)19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、松尾定五、三谷、山本、俵、安永仙、矢田

《報告事項》

1. 北九州信徒協典礼部会の報告(1月22日 14:30)
各教会の活動報告書などを後日回覧
次回典礼部会開催予定 6月24日(日)14:30 小倉教会
2. 典礼聖歌研修会(2月5日 深堀 純氏)講師体調不良につき中止
3. 幼児洗礼 2月19日(日)ノア・ジェームス・フィリップス(遠賀地区 馬込家)
4. 灰の水曜日(2月22日) 古枝回収箱、「聖書と典礼」冊子あり
ミサと灰の式 9:30(朝) 19:30(夕) <朗読者依頼>
5. 3月11日(日)「東日本大震災被災者のためのミサ」
6. 3月10日(土)11日(日)復活前の黙想会 講師：寺浜亮司神父
11日(日)ミサ後 共同回心式 (寺浜師、竹森師、ブルー二師)
7. 4月1日 受難の主日 4月5日 聖木曜日 4月6日 聖金曜日
4月7日 復活徹夜祭 4月8日 復活祭
8. 今後の予定
11月4日 宮原司教公式訪問と堅信式 4月から勉強開始。

《審議事項》

1. 四旬節の第1日曜日(2月26日~3月25日)「十字架の道行き」9:10から実施。
司会担当者が先唱します。 聖歌の練習は、道行きの後又はミサ後。
2. ミサ司会進行表改訂(案)を了承。旧版と差し替え。
3. 枝の式用のシュロの枝準備(岩本氏宅 3月25日ごろ)
4. 聖週間の分担について<別紙：原案を作って交渉する>
5. 「聖週間の典礼B年」を次回委員会までに作成する。
6. 典礼委員会として来年度研修会の企画：聖歌研修会、典礼研修会
7. 2~3月に青年の社会問題意識向上を目指す集まり(三谷氏)
8. その他
教区の日(11月23日)、北九州信徒協議会について

次回予定 2012年3月14日(第2水曜日) 19:30 信徒会館

聖書への案内 No.24

コリントの信徒への手紙 2

コリントについては1月号に書いたとおり、アテネの南の半島の付け根にある重要な都市で今も大きな遺跡が残っています。

56年、パウロがギリシャに行く途中、マケドニアから送った書簡で、「感謝の手紙」といわれています。それはパウロの弟子のテトスをもたらしたコリント教会の吉報に感謝しながら書いたものです。

一方で、パウロは自分がしている旅で様々な困難に会ったことを書いています。(11章16節～33節) この箇所を読むと、そのようなことがありながらも旅を続けているパウロの情熱と使命感に感銘を受けます。

コリントの信徒への手紙1の続編として読んでみてはどうでしょうか



今月の聖人

9日 聖フランシスカ(ローマ) 修道女

1384年-1440年

フランシスカは、ローマの貴族の家に生まれ、信仰深く育てられた。幼いころから、修道院に入って神に生涯をささげたいという望みを抱いたが、13歳のときに両親の望みに従ってロレンツォ・ポンチオニという裕福な貴族の青年と結婚した。6人の子どもに恵まれ、妻として母として理想的な家庭を築いた。

ローマが1400年からの内戦によって荒廃していたときには、義理の姉とともに貧しい人々の救済や、病人の看護に献身的に当たった。フランシスカのもとに、志をともにしたいとする婦人たちが集まり、1425年に、貧しい人々を救済するための会「トル・デ・スペキ女子修道会」を創立した。フランシスカは修道会を会外から指導していたが、1436年夫の死を機に自らも共同体で生活を始め、修道院長として亡くなるまで会員を導いた。

彼女はしばしば神秘体験をし、守護の天使と親しく語らったといわれる。息を引き取る前にも、「天使が後についてきなさい、と手招きしています」と言ったと伝えられている。



水巻カトリック教会の皆様

Viva Jesús y María!

主の奉献の祝日に、聖母マリア様と共にこの感謝の便りを主任:竹森勇神父様とレプトン会の会員、信徒の皆様方の為にロザリオの祈りを捧げて書き始めました。

先日、Sr.Ignazia 古川より皆様方からの愛の献金、35万円の大金を頂いたとの大変有難い嬉しい知らせが入りました。20年以上も続いている日本の水巻教会とペルーで宣教を続ける私達との親愛のつながりを神様が祝福で満たして下さいますように！皆様方のご支援を頂き、新天地へ移転してから不毛の埃だけだった土地が日に日にきれいになり、保育園児も増えて現時点で30名になっています。今年からは、子供食堂も賑やかになりそうです。

昨年はパンプロナ・アルタからサン・ガブリエルへ移転して園児が少なかった事もあり、2011年度分として頂いた支援金からはほんの一部のみの支出となりました。毎日の子供たちのおやつとして栄養価の高い飲み物、おやつを持って来られない子供のためのパンや果物などのために使わせて頂きました。また、12月にはささやかなクリスマスのお祝いをし、貧しい子供たちの家庭にパネトンのプレゼントをしました。今年は新園舎の落成を控え、入園希望者も増えています。この土地で子供食堂を始めるために、新たに設備を整える必要があります。また以前は国から食材の援助がありましたが、これからは全て購入しなければなりません。昨年度のご支援の繰越金は、これらの事に使用させて頂きます。

インターネットで、水巻聖母幼稚園の“聴こえていますか？”と“新しい人生”のビデオを見せて頂き、皆様方の存在を身近に感じることができて嬉しかったです。同じ幼児教育と宣教に働く私達です。喜びと希望の福音を、生けるキリストのパンに養われて共に励んで参りましょう！

今の日本は、昨年3月11日の大災害の日から多くの方々が貧しさと心身の苦しみの中で生きておられることを思い、毎日、あの時の痛ましい映像を思い出しながら祈っています。この困窮のなかからの献金を頂くことに今までとは異なった心境ですが、1日も早い復興を願いながら皆様方の寛大な善意をお受けさせて頂きます。

日常保育での幼子達の明るい歌声と祈りが響き渡り、地域の人々に注目され、少しずつですが信仰の目覚めを見ることは、嬉しいことです。足りない事に目をとめるよりも、水道があり、そこから水が流れ出ることに感謝！おいしいパンが今日も頂けたことにも感謝！神様と皆様方お1人お1人に心からの感謝を申し上げます。

祈りと感謝をこめて・・・2012年2月2日

イエスのカリタス修道女会

サン・ガブリエル マリア・タキ保育園
園長 シスター 恵 英代・姉妹一同



1月31日現在
マリア・タキ保育園新園舎の歩道側から見た様子。
向かって左手のペンキが塗られている方が第1期工事にて完成、

右手のセメントの方が第2期工事にて建設中。
外壁がないため、黒いビニールシートで囲っている。



第1期工事にて完成した園舎。上の写真と同じ方角から、囲いの中にて撮影。



★特別献金★

1月29日 児童福祉献金
30,600円
ご協力ありがとうございました。

★黙想会・共同回心式★

日時 3月10日(土)
14時~16時・19時~21時
3月11日(日) 9時半~
主日のミサと共同回心式があります。
指導司祭 寺浜亮司神父(直方田川教会)

★小冊子「つなぐ 2012」★

四旬節キャンペーン小冊子「つなぐ
2012」がカリタスジャパンより発行され
ています。
教会の後ろに置いてありますので、各家
庭に1冊ずつ、お持ち帰りください。

★十字架の道行き★

四旬節期間(2月26日から3月25日)
のミサ前に、十字架の道行きを行います。
時間は9時10分頃からです。

★特別寄付★

中間地区の荒木英三郎様の奥様より、
寄付をいただきました。ありがとうご
ざいました。



【転出】お元気で！

◇中場 純子(旧姓福田)さん
遠賀地区より大阪教区岸和田教会へ

【洗礼式】おめでとう！

◇2月19日
フリップス望明(のあ)さん 遠賀地区
洗礼名 ジェイムス

折尾地区

西山寿美枝さんの短歌

老いの身を如何にすべきか春の夜を

月は細りてやみに熔けゆく

眼鏡かけ眼鏡を探す今日のわれ

おかしくもあり悲しくもあり

窓下でままごと遊びの幼な子は

母親役を見事にこなす

春の宵そっと切り来し桃の花

一枝ささぐる紙の雛

夜の間には春の野菜に穴をあけ

かくれし虫は王者の如し

歌詠みし上手な人のひとしづく

ほしいと思ひ今日も歌詠む